「学校だより」　第７号　☆ホームページではカラーでご覧いただけます。

愛汗大志

令和４年７月５日（火）
南城市立知念中学校
校長　志伊良 洋子

盛り上がった知念ピック！

６月２６日（日）待ちに待った知念ピックが開催されました。心配された天気も晴れ、知念ピック日和になりました。「One for All All for One ～笑え！走れ！ベストを尽くして全力で楽しめ！！～ CHINEN　2022」のテーマのもと、本当にいい笑顔で各競技を大いに楽しんでいました。保護者の皆様にも６２世帯の参観をいただき、大変盛り上がりました。ご声援ありがとうございました。

各学年からの感想を紹介します。

＜１年　屋比久　渚＞

初めての知念ピックをして、障害物競争や大縄跳びでは、チームの人たち皆で協力し、息を合わせて頑張ることができました。学級対抗や部活対抗のリレーでは、他のチームに負けないように、仲間と座って大きな声で応援をしました。

＜２年　宮城　奈弓＞

みんなで協力できたと思います。１年生の頃はあまり応援できなかったけど、２年生になったら、同じチームにも違うチームにも応援することができました。部活対抗リレーでは、１年生、３年生と協力できたので楽しかったです。バドミントン部での思い出がつくれて良かったです。

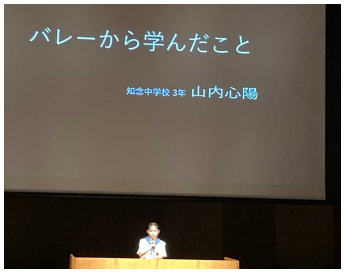
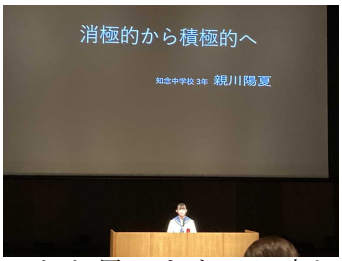
＜３年　儀間　ひかる＞

準備と片付け、放課後残ってやるの正直きつかったけど、最後まで頑張ったおかげで、知念ピックを楽しむことができた。最後の知念ピックで、３学年のみんなと笑いあって、楽しめたので嬉しかった。思い出に残る知念ピックになって良かったと感じた。

また、知花綾子先生と校長の還暦祝いも盛大にしていただき、皆さんに祝ってもらいました。こんなに嬉しいことはありません。退職前にいい思い出になりました。皆さんに感謝です。

プールの授業始まりました

清掃に時間がかかったプールもいよいよプール開きです。７月１日に安全祈願をして、水泳の授業を開始しました。ちょうど期末テストも終わり、嬉しそうに泳いでいました。沖縄県民の泳力を高めるためにも頑張りたいものです。

少年の主張大会に2人出場

７月１日に南城市少年の主張大会がシュガーホールで行われました。代表で出場したのは、山内心陽さん「バレーから学んだこと」と親川陽夏さん「消極的から積極的へ」２人とも感じたことを素直に表現していて、思いが伝わるように話していました。広い会場で緊張したと思います。お疲れさまでした。